



湘南支部総会へ

第12回 湘南支部総会

8月13日(月)

午後3時～

藤沢市役所本庁舎5階 第3会議室

※会員であればどなたでも出席できます。

第12回湘南支部総会は上記の要領にて開催されます。1年間の活動報告と決算、向こう1年間の運動方針と予算などが提案され、討議に付されます。

会員はどなたでも出席できますので、多数のご出席を期待いたします。一方でご出席がかなわない方には「委任状」の提出をお願いします。

なお、総会に先立ち、映画鑑賞会を実施します。会員でない方でもご覧いただけますので、お誘いあわせてお出かけください。

～73年目の敗戦記念日を前に～

「激動・日中戦史秘録」

8月13日(月)

午後1時30分～

(1時間)

藤沢市役所

本庁舎5階

第3会議室

参加費:

資料代 300円



「ニエアル・雲南・世界史」 山田宗睦氏講演に20名

辻堂在住の哲学者・山田宗睦先生の講演会が7月9日、湘南支部の主催で藤沢市内にて開催されました。

支部内外から20名が参加し、3つのテーマにそって縦横に語られる93歳の先生の講演に耳を傾けました。

「ニエアル」については、1979年前後の訪中での、上海市内のニエ・アル旧居「発見」のいきさつや藤沢の記念碑設置までの経緯など、「雲南」については、豊かな自然などの観光資源や日本神話との共通性について語られました。「世界史」については、ユーラシア大陸の歴史を多種類の地図を資料に、言語学的な分析も含めて熱く語られました。

質疑応答では、ニエ・アルの楽曲についての質問、日本人、日本語の祖についての質問に対して回答するとともに、「四大文明」論の誤り、「万世一系」史観批判や安倍政権下での文化面の単一化への危惧、漢民族中心の歴史観を克服し、文字を持たない民族の歴史を復元する重要性など幅広く自説を紹介されました。



ニエ・アル碑前祭挙行 湘南支部から4名が参加

7月17日午前、鵜沼海岸のニエ・アル記念広場にて、83年前の同日にこの地で水死した中国国歌の作曲者・聶耳（ニエ・アル）を偲ぶ碑前祭が、藤沢市消防音楽隊による中国国歌「義勇軍行進曲」の演奏などの次第で執り行われました。

碑前祭には湘南支部からの4名を含む多くの参加者があり、日中友好協会神奈川県連を代表して大森猛会長が献花しました。



献花する大森会長
ニエアル碑前祭 2018年7月17日

ニエ・アル記念広場 清掃活動

8月6日(月) 午前11時～

※毎月第一月曜日に、有志が、中華人民共和国の国歌「義勇軍行進曲」の作曲者である聶耳（ニエ・アル）の慰霊記念碑のある広場を清掃しています。聶耳は1935年7月17日に、遊泳中、鵜沼海岸で亡くなりました。
※小田急線・鵜沼海岸駅下車・徒歩7分
※どなたでも、手ぶらで参加できます。

湘南支部ホームページ

日本中国友好協会湘南支部のホームページには行事予定やこれまでの活動など多彩な記事がアップされています。ぜひご覧ください。
<http://nicchushounan.sakura.ne.jp/index.htm>
*「日中友好協会湘南支部」でも検索できます。

中国を知るシリーズ ＜第6回＞華東地方①

このコーナーは「理解は絆を強くする」を合言葉に日本中国友好協会が全国的に取り組んでいる「中国百科検定」の公式テキストである「中国百科」から抜粋・加筆してご紹介するものです。

中国を知る機会としてお読みください。

＜第6回＞華東地方【前編】

■山東省

山東半島と華北平原からなり、全国第2の人口9,700万人が常住する。

新石器時代には龍山文化を生み出し、春秋時代には孔子、孟子、孫氏らが活躍した。曲阜市には孔子一族の廟や墓があり、歴代皇帝の尊崇を集めた泰山も近い。省都・済南市とともに省を代表する都市である青島市はハイアールや青島ビールなどの成長企業を排出し、威海、煙台などとともに対岸の韓国から進出した企業が集中するため、全国屈指のGDPを誇る。

■安徽省

清代初期までは江蘇省と一緒に「江南省」と呼ばれていた。省の北部を淮河が横断するため、気候的にバラエティに富んでいる。天下の名山・黄山が東南部にある。

清代には水運を活かした「新安商人」が活躍したが、現代では馬鞍山市の鉄鋼、銅陵市の銅精錬、蕪湖市の自動車などの工業も発展している。

省都は合肥市、人口は約6,000万人。

＜次回は華東地方【後編】＞

＜ご案内＞日中音楽交流のつどい

と き **8月8日(水) 午後1時～**

ところ **藤沢市民会館 大ホール**

※JR・小田急・江ノ電 藤沢駅下車・徒歩10分